

# ！緊急営農情報！

H28.6.30

## 早生、コシヒカリともに平年より2日程度早い。

(6月24日現在出穂期予想 新発田普及指導センター)

今年は、気温が平年より高く推移しており、指標値（生育のめやす）に比べて葉数の進みはコシヒカリが「やや早い」、こしいぶきは「早い」で、いずれも草丈は「長い」、莖数は「多い」、葉色は「やや濃い」状況となっております。今後の気象条件で生育過剰も心配されますので圃場をよく観察し適切な穂肥対応を心掛けましょう。

### ◇水稻出穂予想【6月24日現在第一報】

#### 「連休植え」

(月/日、kg/10a)

品種名	幼穂形成期	出穂期	穂肥窒素量	穂肥時期		湛水管理開始時期
				1回目	2回目	
こしいぶき	7/4	7/27	2	7/4 (-23)	7/13 (-14)	7/2 ~
ゆきん子舞	7/4	7/26	4	7/1 ~ 7/3 (-25 ~ -23)	7/12 (-14)	7/1 ~
ひとめぼれ	7/5	7/27	2~3	7/2 ~ 7/7 (-25 ~ -20)	7/13 ~ 7/17 (-14 ~ -10)	7/2 ~
コシヒカリ	7/13	8/5	1~3	7/18 ~ 7/21 (-18 ~ -15)	7/26 (-10)	7/11 ~
わたぼうし	7/1	7/23	2~3	7/1 ~ 7/3 (-22 ~ -20)	7/11 ~ 7/13 (-12 ~ -10)	6/28 ~
こがねもち	7/8	7/31	1~3	7/13 ~ 7/16 (-18 ~ -15)	7/21 (-10)	7/6 ~
五百万石	6/30	7/22	1~2	7/2 (-20)	7/10 (-12)	6/27 ~
越淡麗	7/16	8/9	2	7/22 (-18)	7/30 (-10)	7/15 ~

#### 「5月10日頃移植」

(月/日、kg/10a)

品種名	幼穂形成期	出穂期	穂肥窒素量	穂肥時期		湛水管理開始時期
				1回目	2回目	
こしいぶき	7/6	7/29	2	7/6 (-23)	7/15 (-14)	7/4 ~
ゆきん子舞	7/6	7/28	4	7/3 ~ 7/5 (-25 ~ -23)	7/14 (-14)	7/3 ~
ひとめぼれ	7/7	7/29	2~3	7/4 ~ 7/9 (-25 ~ -20)	7/15 ~ 7/19 (-14 ~ -10)	7/4 ~
コシヒカリ	7/15	8/7	1~3	7/20 ~ 7/23 (-18 ~ -15)	7/28 (-10)	7/13 ~
わたぼうし	7/3	7/25	2~3	7/3 ~ 7/5 (-22 ~ -20)	7/13 ~ 7/15 (-12 ~ -10)	6/30 ~
こがねもち	7/10	8/2	1~3	7/15 ~ 7/18 (-18 ~ -15)	7/23 (-10)	7/8 ~
五百万石	7/2	7/24	1~2	7/4 (-20)	7/12 (-12)	6/29 ~
越淡麗	7/18	8/11	2	7/24 (-18)	8/1 (-10)	7/17 ~

※出穂期予想は、今後の気温が平年並みに推移した場合の予測であり、状況により変更される場合があるため、最新の予測を確認しましょう。

## ◇穂肥肥料と窒素分量

品名	成分	特性
北越後穂肥専用	N : 12%、P : 5%、K : 8%、苦土 : 3%	窒素、リン酸、加里の他に苦土も含む。
北越後有機穂肥	N : 12%、P : 2%、K : 8%	窒素 12%の内、化学由来窒素 5.9%、有機由来窒素 6.1%
硫化燐安（穂肥）32号	N : 14%、P : 4%、K : 14%	化成の穂肥肥料
α有機 246 ネオ Va	N : 12%、P : 4%、K : 6%、苦土 : 3%	窒素成分の約 30%が有機由来
味好 2号	N : 7%、P : 2%、K : 7%	100%有機肥料
おてがるくん	N : 12%、P : 5%、K : 7%	流し込み肥料

- 施肥ムラ防止のため、止め水（浅水）してから施用しましょう。
- 稲体の葉ヤケを防ぐため、降雨直後や稲体に朝露が付着しているときは控えましょう。
- 穂肥施用の最終は、出穂の 10 日前をめやすに施用しましょう。
- 後期の栄養凋落が大きい圃場では、有機入り穂肥を施用し後期栄養の持続に努めましょう。

※有機由来窒素を含んだ肥料を施用する場合は、化学窒素肥料に比べ散布時期が早くなります。施用時期に注意しましょう。

有機由来の窒素割合	肥料名	化学窒素穂肥肥料より早める日数
20%以下	北越後穂肥専用	同等の時期
30~40%	α有機246ネオVa	1~2日程度早める
50~60%	北越後有機穂肥	2~3日程度早める
100%	味美2号、有機アグレット816	5~6日程度早める

### 【基肥一発肥料使用における穂肥対応】

基肥一発肥料は穂肥施用の必要はありませんが、場合によっては多少の穂肥を必要とする場合があります。

- 元々後期栄養が持続しない低地力ほ場、または極端に葉色がさめている。
- 基肥一発肥料の施用量が少なかった。

上記のような場合、後期栄養を重視し穂肥施用を検討しましょう。

**！穂肥は稲の生育状況を十分確認したうえで施用を検討しましょう！**